

オール群馬ロケ

来年6月公開

原作は短編集「せんせいの」に所収されたもので、かつて赤鬼と呼ばれていた野球部監督が主人公。末期

「泣くな赤鬼」の製作に協力する高崎フィルム・コミッションは、28、29の両日に高崎城南球場で撮影するシーンのエキストラ500人を募集している。スタントの観客役で、年齢性別は問わず、途中参加、早退も可能。午前7時半〜午後4時。謝

エキストラ 観客役募集

高崎で28、29日

礼として映画のオリジナル記念品を渡す(出演料、交通費の支給はない)。申し込みは①氏名②年齢③性別④緊急連絡先⑤野球経験の有無を記入し、高崎フィルム・コミッション(takasaki.fc@takasaki.film.gunma.jp)へ。

共愛学園前 グループが asons に決まった。花火になり、火大会で打 作成した さん、松崎

がんを患う10年前の教子と病院で偶然再会し、力になろうと模索する物語だ。



(左から)川栄さん、主演を務める堤さん、柳楽さん

堤さんは「人間同士の関わりについて深く考えさせるストーリーなので、期待してほしい」、重松さんは「特に愛着がある作品。楽しみにしている」とコメントした。

兼重監督前橋出身 映画「泣くな赤鬼」

「ピタゴラス」流星コンゴなどの著書で知られる作家、重松清さんの短編集小説を実写化した映画「泣くな赤鬼」の撮影が9月上旬まで、前橋と高崎、安中の3市で行われている。前橋市出身の兼重監督がメガホンを取り、主演に俳優の堤真一さんを起用した。全編を県内でロケーションし、来年6月に全国公開される予定。

御巢鷹 つなぐ想い

日航機事故33年

～中～

教室の生徒に声を掛ける。と江が集まってくれた。全員がオカリナ初心者。1月に白谷さんを講師に迎えて初めての練習会を開いた。正しい音を出すところからのスタートだった。



CGで作成した花火動画の出来栄を競う「第3回 世界Weh 橋」(前橋 員会主催) 共愛学園前 グループが asons に決まった。花火になり、火大会で打 作成した さん、松崎

最優秀に前

CGの花火コンテ

堤さんのほか、俳優の柳楽 優弥さん、川栄季奈さんらが主要キャストを務める。7日にクランクインし、初日は県内の学校で、堤真一演じる赤鬼が野球部員を熱く指導する場面を撮影した。



22年ぶりに 尺玉打ち上げ

前橋花火大会

11日の前橋花火大会に、市は9日、尺玉の大花火を22年ぶりに打ち上げることを発表した。市内の花火が利根川を渡る。1997年、燃え移る。